

変態マゾ強制メス化計画♀乳首アナル公開調教生放送

## ■注意事項

本作品はジョーク作品です。

作品内で行われている行為等を実際に実行して

アナタ自身や周りの、人や物に実害が出たとしても

制作者側はいっさい関知致しません。

全て自己責任で楽しんで下さい。

## ■プロローグ

ようこそ、強制メス化公開調教部屋へ♥

私の名前は桜庭ユリカ、この部屋の主よ。

ここへ連れて来られた…ってことは

お前は「男」としては生きてゆけない

惨めで情けな～～い、弱い弱い存在、ってことで間違い無いわよねえ？

あら、うふふ、否定してもダメよお？

だってここには、男らしい人、たくましくて素敵なお男性は

けっして墮ちては来ないもの♪

ここはねえ、男としてはあまりにも弱く、生存競争を生き抜くことが出来ない

底辺の可哀想な「オス」が、連れて来られる場所なの。

可哀想に、お前はもう、オスとしては終わってしまったのよお？

これからは、女の子として、ううん、違う…

さらにその底辺の底辺♪ 「メス奴隷」として

強い男性や女性に、その身体をオモチャにされる人生が待っているの。

ここはねえ、そんな惨めで恥ずかしいオスでも

これからの人生を、ちゃんと生きていける様に

心と身体をメス化する為の訓練部屋…

お前たちにとっては、言わば、最後の救いの場所よお♪

え？ どうして部屋に、何台もカメラがあるのかですって？

うふふ、それはねえ、お前が調教される恥ずかしい姿を

世界中の人に観て頂く為よお♪

お前はこれから、メス奴隷として大勢の人に

嘲笑されたり蔑まれる人生をおくるの。

そんな人生、ある特殊な性癖を持つ人間じゃないと、耐えることなんて出来ないでしょう？

そう、もう分かっているわよねえ？

(※耳元でじっくり→)「変・態♥」

くすくす、そう、お前は変態の「マゾ」として

これから一生、底辺で惨めに生きていくの。

辛くて恥ずかしい人生が、ずっとずっと続くのよお♪

確認させて頂戴、その覚悟がお前にはあるのかしら？

もし、これからもまだ、男としての普通の人生を歩みたいと言うのなら

一度だけ逃げ出すチャンスをあげるわ。

そして、二度とこの部屋には近づかない様にしなさい。

(※1秒間 値踏みする様に)…でもまあ、お姉さんが見るに…

うっふふ、無駄な抵抗だと思うけど♪

それじゃ、お姉さんは一度この部屋からいなくなるわ。

お前が心の底から、強制的にメス化させられたら願うのなら

次にお姉さんがここに来るまでに

その着ている服を全部脱いで、素っ裸で正座をして待っていなさい。

(10秒)

■第1話 変態メス犬としてご挨拶&身体に落書き<前>

ああああ、情けない姿ねえ、ええ？

男のクセに、女の私に命令されて

素っ裸で正座をしながら、私に来るのを待っていたのかあ？

ああ、みつとも無い、みつとも無い♪

どうやったらこんな惨めな生き物が出来上がるんでしょうねえ？

うっふふ、ほら、もうカメラは回り出してるわ♪

今から大勢の人間が、この部屋の様子をリアルタイムに観察出来るのよお♪

こんな情けない姿、人が見たらどう思うかしら？

きっと冷たく蔑んだ目をお前に向けて、「最低」とか「気持ち悪い」って言うわよお♪

もしかしたら、お前の知り合いだって観てるかもしれないわねえ？

あはは！ ねえ、どうして素っ裸で正座しているのお？ バカなの？ んん？

うふふ、泣きそうな顔して何飲んでるのよ、この変態っ。

そう、せつかく私が、逃げ出すチャンスを恵んでやったっていうのに

お前は自らの意思で、この部屋に残ることを選んだのね？

ということはもう、「何をされても文句は言えない」

そういうことよねえ？

お前は大勢の視聴者の前に情けない姿を晒し

心も身体も完全にメスに墮とされるの。

泣きたくなる様な、恥ずかしくて屈辱的な命令で

男らしさの全てを捨てて、女の、しかも最底辺のメス奴隷として

私に飼われるのよお♪

あらあ？ こんなこと言われてるのに

なんかちょっと股間が反応してるんじゃない？

うっふふ、(※冷たく→)最っ低、ホントにマゾ犬ねえお前は…。

(※ニヤリ→)なあに、素っ裸で正座させられてるのが興奮するのかあ？

ええ、この変態め♪

私みたいな綺麗な女を前にして

お前はただただ正座させられているのよ？

それで股間が反応しちゃうなんて…

さすがは、ここに墮とされるだけのことはあるわねえ、負け犬ちゃん？

そう、お前は「人生の負け犬」

男として産まれたのに、人として弱すぎるから

メス犬として虐げられる、可哀想な存在になってしまったのよ。

うっふふ、このまま1時間でも2時間でも

正座させてやろうか？ なぁ？ あはは！

お前にとっては罰じゃなく、ご褒美になるのかしらぁ？

ああ、情けない情けない♪



無様な正座で股間を反応させる、ど変態の底辺マゾめ ♪

よおし、まずはそのままカメラに向かって土下座しなさい、負け犬。

…ほら、私の命令にはすぐ従うの！

そう、床に頭を擦り付けて、こう言って皆様にご挨拶しなさい。

「初めまして、私は負け犬の底辺マゾ人間です」 はい ♪

(※主人公・弱々しく、怯え→)「は、初めまして、私は負け犬の底辺マゾ人間です」

「私の様な変態マゾの、メス化調教をご覧頂く為に」 はい ♪

(※主人公→)「私の様な変態マゾの、メス化調教をご覧頂く為に」

「皆様の貴重なお時間を割いて下さって、ありがとうございます」 はい ♪

(※主人公→)「ああ、皆様の貴重なお時間を割いて下さって、ありがとうございます」

あはは、素っ裸で土下座しながら

よくそんな恥ずかしい挨拶が出来るわねえ？

ほら、今お前の情けない姿を、400 人を超える人間が見てるわぁ♪

うふふ、あら、まだまだ増えていくみたい♪

よおし、頭を上げろ。

次は、犬らしく上半身を持ち上げて

脚を開きながら、腰をおとす…

そう、「ちんちん」のポーズを取りなさい♪

ほら、さっさと動きなさい、犬！（5秒）

あはははは！ 何て情けない格好かしらぁ？

男として、ううん人間として、もう終わってるわよお、お前♪

ほおら、視聴者数が 600 人を超えたわぁ♪

みんながお前のちんちんを見て笑っているのよお、嬉しいかぁ？

さあ、ご挨拶の続きよ、負け犬♪

「今日はこの惨めな負け犬マゾの私が、自分のオチンポコには触らず」 はい♪

(※主人公→)「ああ、今日はこの惨めな負け犬マゾの私が、自分のオチンポコには触らず」

「乳首やお尻の穴の刺激だけでメスイキするところをご覧になって、いっぱい笑ってやって下さい」 はい♪

(※主人公→)「ち、乳首やお尻の穴の刺激だけでメスイキするところをご覧になって、いっぱい笑ってやって下さい、ああ…」

ほら、もっと負け犬の無価値なチンポコをカメラに突き出しなさい！

そう、男として役に立たない駄目チンポを、カメラの向こうの皆さんに見て貰うのよ♪

(※ニヤニヤ→)お前はこれから、底辺のメス犬になるんだから

こんな役立たずのチンポなんか、もう必要無いわよねえ、切り落としちゃうか、なあ？

(※ニヤリ→)あらあら、怯えた顔して、ホンット笑える♪

ふふ、お前の怖がる表情見ると、ん♥ お姉様ゾクゾクしちゃうわぁ♥

くす、まあいいわ、ゴミチンポ切り落とすのは、また今度にしてあげる♪

その代わり、チンポにはいっさい触るんじゃないわよ？

お前には、負け犬メス奴隷として、メスイキしか許されないの。わかった？

ほら、返事は？ (3秒)

よおし♪

それじゃあ、お前が何者なのか

私がペンで身体に書いてあげるわ♪

もちろん、油性のねえ。動くなよお？

まずは…

「メス化希望の負け犬変態奴隷」っと♪

ほら、自分で読んで自覚しなさい♪

(※主人公→)「は、はいっ。わ、私は、メス化希望の…負け犬変態奴隷です」

うっふふ、そうよお、ほんと惨めだねえ、お前は？

よおし、次は…

「乳首だけでイける最低のゴミマゾです、ハートマーク」

ほら、カメラに向かってダブルピースしながら読みなさい♪

(※主人公つらそうに→)「ち、乳首だけでイける、最低のゴミマゾです～」

もっと笑顔で嬉しそうに言いなさいよ

お前はこういうことさせられるのが嬉しいから「ゴミマゾ」なんでしょう？

ほら、やり直し

「乳首だけでイける最低のゴミマゾで～す、ピース♥」 はい♪

(※主人公ひきつり笑顔→)「ち、乳首だけでイける、最低のゴミマゾで～す♪ ああ…」

あははははは！

恥ずかしい、ほんっとバカ丸出し♪

ほおら、視聴者が800人超えてるわよお♪

みい～んなが、お前の情けない姿を観て笑ってるの。

底辺の負け犬マゾが、素っ裸で「ちんちん」をしながら

笑顔とダブルピースでご挨拶する、最っ低の姿を♪

よおし、それじゃあお前が自分で宣言したんだから

本当に乳首だけでイって貰うわよお、変態犬う♪

## ■第2話 乳首で変態メスイキショー

ほら、ちんちんのポーズはもういいから

カメラに近づけて、お前の乳首をよく見せなさい♪

そうよ…、うふふ、男のクセに、何てスケベな乳首をしているのかしらあ。

ん～？ 自分の恥ずかしい部位をカメラに撮られて

興奮しているのお？ この変態のマゾめ♪

さあ、お前はメスになりたいんでしょう？

皆さんが観てる前で、自分でオッパイを揉んでごらん♪

そう、オッパイよ、オッパイ♥ うふふ♪

ただし、乳首にはまだ触っちゃダメよお？

ほら、ゆっくり…、イヤラシク…、自分でオッパイを揉むの♪

そう、あらあら、スケベな顔して…

嬉しいのかあ？ みんなにオッパイ揉むところを観られて。

お前は今、女の私の命令で

素っ裸になって、オッパイを揉んでいるのよお？

人生勝ち組のまともな男なら、人前で絶対にしない様な「変態行為」をしているの♥

ほおら「ああん、ああん♥」ってイヤラシイ声を出して喘ぎなさい♪

メスになりきって、スケベな声で喘ぎながら自分のオッパイを揉むの。

恥ずかしい姿を、皆さんが笑ってくれるわよ、ほら♪



(※主人公→)「あ、ああん、ああん♥ オッパイい、はあ、はあ♥」

あはは！ よくそんな恥ずかしいことが出来るわねえ？

ホントここに堕ちてくる負け犬は、変態のマゾばかりだわあ♪

ほらもっと、自分は「メス」だって自らに言い聞かせながら

イヤラシク身体をクネらせて喘ぎなさい♪

(※言いかせる→)お前は底辺の女、メス犬奴隷よ♪

本当は男なのに、自分でオッパイを揉んでオナニーする、変態の「負け犬♥」

うっふふ、そう、お前は救いようの無い、最っ低のゴミマゾなの♪

あらあら、変態犬の乳首が、触ってもいないのに、もうピクピクと反応してるじゃないの♪

ん～？ 触りたいのか？ オッパイだけじゃなくて、乳首にも触ってオナニーしたいのか？

ほおら、触りたいなら、言ってごらん？

「お願いします、ユリカお姉様。乳首に触ってオナニーさせて下さい」って、さあ♪(8秒)

(※主人公→)「ああん♥ お願いしますユリカお姉様あ、乳首に触ってオナニーさせて下さい♥」

あはは、情けないオネダリねえ？

だったらほら、カメラの向こうでお前の変態オナニーを観てくれている皆さんに

「私は今から、自分の乳首に触ってオナニーします」って、宣言してみろ♪(8秒)

(※主人公→)「ああ…、み、みなさん。私は今から、自分の乳首に触って、オ、オナニーしますう」

あらあら、とうとう視聴人数が1000人を超えちゃったわあ♪

ほら、お前の変態な「乳首オナニー宣言」を聴いて、1000人の人が「どん引き」してるわよお？

男のクセに、大勢が観ている前でオッパイを揉んで、乳首オナニーするだなんて♥

さすがは底辺の負け犬マゾねえ？ 想像を絶する「ど変態♪」

いいわ、ちゃんと心の底から、自分は底辺のメス犬だって認めて

イヤラシク乳首に触れるなら、許してあげる♪

ほら、出来るか？

(※主人公、悶えながら→)「は、はい♥ 底辺のメス犬として、イヤラシク乳首を触りますう♥」

よおし、それじゃあギューっとオッパイを掴まんで、乳首を尖らせなさい♪

まだ乳首には触るなよお？ そのままの状態、乳首を虐めたい気持ちを我慢しなさい♪

ほおら、お前のエロ乳首が、早く触って欲しいよおってピクピクしてる♪ スケベだねえ？

カメラの向こうでは今、大勢の人間がお前の変態行為を見ているんだぞお？

ど変態のマゾが、自分でオッパイを揉んで、乳首を尖らせているところを♪

うっふふ、さあほら、「乳首触りたい」って何度もお願いしてみろ♥

(※主人公)「はあ、はあ！ ああん♥ 乳首触りたい、乳首触りたい、乳首触りたいですう♥」

クスッ、どうしようかしらねえ？

お前みたいな変態のどマゾは、こういう時、焦らされる方が興奮出来るんじゃないのお？ ねえ？

(※主人公)「ああ、お願いします、お姉様あ。はあ、はあ、乳首に触らせて下さい♥」

(※じらす→)んふふ、乳首をクリクリ指先で転がしたり、ギュウギュウ摘まんだりしながら

女の子になりきって「ああん、ああん♥」って喘ぎ声を出すのよ？ 出来るの？

(※主人公)「はい！ はいい！ ちゃんと、女の子みたいな恥ずかしい声で喘ぎますう♥」

あはは！ いいわ、ほら、そのイヤラシク尖った乳首を、自分で慰めろ変態！

お前は女の子♪ メスよ、メス♪ 弱い弱い底辺のメス犬奴隷♪

(※主人公)「ああ♥ 乳首い、すごくコリコリに硬くなってら♥ あん、ああん♥ あはああん♥」

ほおら、みんなが観てくれてるよお？ お前の変態乳首オナニーを♪

さあ、こう言って丁寧にお礼を言いなさい♪

「底辺マゾの、恥ずかしい乳首オナニーを観て下さって、ありがとうございます♥」 はい♪ (8秒)

(※主人公)「あ、あ、ああん♥ て、底辺マゾの、恥ずかしい乳首オナニーを観て下さって、ありがとうございますう♥」

あらあらあ〜？ ちょっと何よ、その股間ではしたなくビクビクしているモノは？

うっふふ、最っ低！ 触ってもいないのに、オチンポコがビンッピンになってるじゃないの！

おかしいわねえ、お前は今女の子なんじゃないのお？

どうしてそんなモノが、しかもビッキビキに勃起して、お前の股間にそそり立っているのかしらあ？

やれやれ、これはお礼を言ってる場合じゃ無いわねえ？

メス奴隷のクセに、勝手にチンポコ勃起させて

ほら、乳首コリコリいじりながら、そのみっともなく勃起したチンポをカメラに突き出しなさい♪

さあ、早く！

よおし、そのまま、皆さんに謝罪よ！

「メス犬奴隷の分際で、許可も無くオチンポコを勃起させてしまい、申し訳ありません」 はい♪

(※主人公)「ああん♥ メス犬奴隷の分際で、許可も無くオチンポコ勃起させてしまい、申し訳ありません♥」

「このまま、自分で乳首をいじって、何度もメスイキしますので、どうか許して下さい」 はい♪

(※主人公)「はあはあ♥ ああ、このまま、自分で乳首をいじって、何度もメスイキしますので、どうか許して下さい♥」

あはは、いいわほら！

もっとクネクネ身体をよじらせて、スケベに身悶えながら、自分の乳首を虐めなさい♪

あら凄い、お前の乳首はチンポコに負けないくらい、ビンッピンに勃起しちゃうのねえ？

ほら、乳首をクリクリ、クリクリ♪ 強く摘まんで、ギュウウウ♪

ううわ～、乳首虐めたら、オチンポコがまたビクビク反応しているじゃないの、この変態♪

なあに？ チンポコにも触りたいの？ チンポコでイキたいのか？

ダメに決まってるでしょう！

お前はこれからの人生、もう女として、メス奴隷として生きていくのよ

ここに残ったってことは、自分でそう決めたってことでしょう？

ほら、イキたいなら、乳首だけでメスイキしなさい♪

お前はもう女の子なんだから、自分で乳首を触っているだけで

全身がビクンビクン痙攣しちゃうくらい、スケベに「感じられる」わぁ♪

あぁん、ほら、乳首を感じる♥ 乳首を感じるう♥

コリコリに勃起した乳首を触ると、甘くトロける様な快感が

お前のスケベな身体の中を、何度も何度も走り抜けちゃうわよぉ♪

ほおら、目がトロ～ンとして、口も開いちゃってるわぁ♥

気持ち良すぎて、涎も垂れちゃいそう♪

(※見つけて嬉しそう→)やだ、触ってもいないチンポコの先が

イヤラシイ透明汁でベッコベッコじゃないの♪



残念ねえ、そのヌルヌルのお汁を亀頭に塗り伸ばして

クチュクチュ触ってあげたら、オチンポコすっごく気持ちいいのに

お前はもう、チンポに触ることは出来ないの♪

ああそうだ、だったらそのチンポの先でどンドン漏れてるスケベ汁

指ですくって舐めなさい♪

ん？ 聞こえなかったの？

自分のカウパーを舐めて、よく味わいなさいって言ってるの♪

お前は変態のメス犬なんだから、チンポカウパーくらい舐められないでどうするの？

ほおら、トローっと垂れてるチンポの透明汁を指ですくってえ♪

ゆっくりと自分の舌で舐め上げるの…ペェロペロ♥

ああん、自分のカウパー液、美味しいねえ？

うっふふ、1000 人を超える観客の前で、自分の先走り汁を舐めるのはどんな気分なのお？

みい〜んながお前のことを、蔑みの目で見下しているわよお♪

ああ、コイツは「最っ低のど変態」だって♪

だけど、そんな目で見られているかと思うと

お前はどンドンスケベな気持ちになってしまうわねえ？

だってお前は、変態の中でも最低辺♪

「負け犬のど変態マゾ」だもの、ねえ？

ほら、いつまでも自分で手加減して触ってるんじゃないわよお？

次はお姉様が後ろから、お前の乳首を虐めてあげる♪

さあ、もっとその勃起チンポをカメラに突き出しなさい！

女の子なのにオチンポコを勃起させてごめんなさいって

何度も謝罪し続けるのよ。

やだ、何この乳首？

人前でよくこんなにコリッコリに勃起させられるわねえ？

本物の女の子よりも敏感なんじゃないのお、お前の乳首は♪

ほおら、クリクリクリクリ！ クリクリクリクリ！

もっともっと恥ずかしい声で喘ぎなさい

皆さんに、お前のスケベな声を聴いて貰うのよ！

クリクリクリクリ！

さあほら、ホントは男なのに

「乳首でメスイキ」するのよ変態マゾ♪

(※主人公)「は、はいい♥ あん、ああん、メスイキい♥ メスイキしちゃう♥」

オッパイを掴んで、尖った乳首をクリクリ！ クリクリ！

思いっきり掴まむから、我慢しなさいよ！

ほおら、ギュウウウ！！ 乳首を、ギュウウウウ！！

(※主人公)「きゃあ、ああ、ああん♥ 乳首い、乳首痛いのに、気持ちいいですう♥」

(※主人公)「ああん、あああん♥ (※軽く絶頂→)乳首でイっちゃう、乳首でイっちゃうう♥」

あははは！ 身体がビクンビクンしているじゃないの

本当に乳首だけでメスイキしてるのねえ、このど変態は♪

ほら、射精じゃないんだから、何度でもイけるでしょう？

クリクリ、ギュウウウ！ クリクリ、ギュウウウ！

(※主人公)「きゃあ、ああん♥ メスでイってるう、メスでイってますうう、いやああん♥」

まだよ、ほら、もっとイケ、変態♪

お前は乳首でメスイキするのが大好きな変態よ！

ギンッギンに勃起してるオチンポには、いっさい触らせて貰えないのに

乳首だけでメスイキ出来ちゃう、ど変態のマゾ犬よお！

(※主人公)「きゃあん♥ んはあ♥ 私は、乳首だけでメスキ出来ちゃう、ど変態のマゾ犬ですうー♥」

(※主人公)「あ、あ、あああん♥ また来るう、また乳首だけで、メスイキ来るう、(※絶頂→)きゃあああ〜♥」(5秒)

うっふふふ、ああ〜あ、はしたない♪

大勢が見てる前で、男のクセに乳首だけでメスイキしちゃうなんて…。

ほんと、どうしようも無い変態マゾねえ、お前は♪

さあ、次はもっともっとメス堕ちさせてあげるから、覚悟しておきなさい♪

### ■第3話 ペニバンフェラチオご奉仕ショー

ほおら見えるかあ？

お姉様の股間で、ビンッピンに勃起してる「オチンポ♥」

お前のマゾチンポなんかより、よっぽど立派でしょう？

さあ次は、このお姉様のビンッピンチンポに

お前の口でご奉仕するのよ♪

ご奉仕よ、分かってるでしょう？

そう、フェラチオよフェラチオ♪

何驚いた顔してるの？

男のチンポにフェラチオするなんて

お前が堕ちた底辺メス犬奴隷がするご奉仕の、初歩の初歩よお？

ほら、まずは相手の男性に、メス奴隷としてのオネダリからよ♪

いい、お姉様の言う通り、カメラに向かって

お前の一番いやらしい顔をしながら、オネダリしなさい♪

「どうか、私のはしたないお口で、ご主人様のオチンポに「フェラチオご奉仕」させて下さい♥」 はい♪

(※主人公)「ああ♥ どうか、私のはしたないお口で、ご主人様のオチンポに「フェラチオご奉仕」させて下さい♥」

うっふふ、このスケベ犬め♪

そう、お前は男のチンポにフェラチオがしたいのね、くすくす♪

いいわほら、たっぷりとヨダレを貯めて口を開きなさい♪

さあほら、変態マゾ奴隷のお前が、だ〜い好きな「男のチンポ」よお♥

たっぷり気持ち良くさせなさい♪

(※主人公)「うう、は、はいい…んぶう、んああ！ グチュツチュパッ、グチュ…ジュルルッ♥」

ほら、ちゃんとカメラに写る様にオシャブリするのよ変態犬♪

んん♥ そう、ああらあら、お前は男のクセに、フェラチオが上手なのねえ？

さあもっとイヤラシイ音を立てて、舌を使って舐め上げなさい♪

(※主人公)「ふあ、ふあいい♥ あぶう、グチョツ♥ レロレロ、チュプッ、グチュグチュツジュルルルッ！」

うっふふ、こお〜んなにイヤラシイ顔して♪

お前は男のチンポをシャブリするのが大好きなのねえ？ ええ？

(※主人公)「ああん、そんなあ！ んぶう、んああ！ グチュツ、チュパツチュパッ、ヌル、グチュ、ジュルルルッ！」



お前はメス堕ちした変態マゾだもの、当然よねえ？

ほら、答えなさい♪ オチンポしゃぶるのが好きなんでしょう？

(※主人公)「うう、は…はい、私は、男の人のオチンポをしゃぶるのが、大好きですう、あああ…」

(※楽しそう→)さあ、お前が今何をしているのか、カメラの向こうの皆さんに、詳しく説明なさい♪

(※主人公)「ああ、わ、私は今、卑しいお口で、男の人のオチンポに「フェラチオご奉仕」させて貰っていますう♥」

クスクスッ、やっぱり、最っ低のど変態♪

そう、お前はフェラチオ好きの「どマゾ犬」よ

さあもっと心を込めて、チンポにご奉仕しなさい♪

(※主人公)「んあああ、ふぁいい♥ んん、ジュルルッグチョッ、ネチュチュプッ、グチュジュル、ジュルルッ♥」

ああ、いいよお、お姉様イキそうよお♥ はあ、はあ！

お前の口の中にイクよ？ お精子出すわよ！

ん、何？ コレはオモチャだから…ですって？

バカなのお前は？

これはお前が、これからの人生をメス奴隷として生きていく為の訓練なのよ？

本当に口の中に射精して貰ってると思って、そのスケベな口で、男の精子を受け止めなさい！

(※主人公)「んあああ！ は、はい、どうぞ！ 私のお口の中に、お精子出して下さい、んん、ジュルルッ、グチュッ♥」

んん、んああああー！！

(※主人公)「ん、ん、んぶう♥ んああ…はあ、はあ、はあ、…ああ、お精子、ありがとうございますう…」

うっふふ、よおし♪

いい娘ねえ、素直になって来たじゃないの♪

(※意味深に→) そうねえ、お前が本気で望むのなら

調教の最後に「本物のお精子」を味わわせてあげてもいいわよお、くすくす♪

#### ■第4話 変態メス犬としてご挨拶&身体に落書き<後>

よおし、じゃあ次はカメラに、そのイヤラシイお尻を向けなさい♪

ほら、四つん這いになって、グーっとお尻を突き出すのよ変態犬♥

そう、お前の恥ずかしいお尻の穴を、たっぷりと観て頂きなさい♪

あはは！ ああ～あ、恥ずかしい恥ずかしい♪

よくこんな姿を人前にさらせるわねえ、お前？

本当なら誰にも見せられない様な、この最っ低な姿を

今、信じられないくらい大勢の人間が観てるのよお？

よおし、それじゃあ

落書きが身体の前にだけしてあるんじゃ、バランスが悪いから

このスケベな「お尻にも」してあげましょうねえ♪

ほら、じっとして、もっと尻を突き出さない♪

そう、よおし、動くなよお？

まずは、「変態マゾ♪」

それから「メスイキ大好き、ハートマーク」っと

ほら、読み上げて自己紹介しない♪

(※主人公)「うう、わ、私は…メ、メスイキが大好きな、へ、変態のマゾですう♥」

そう、うっふふ、だけど身体の後ろには乳首は無いわよお？

それでもお前は、メスイキ出来るのかぁ？ ん？

もちろん、メスイキなんだから

そのマゾチンポにはいっさい触れないぞお、どうするんだぁ？

(※主人公)「あぁん、そ、それは…それはぁ…」

ほら、答えろ変態♪ お前は どうやってメスイキするんだ？

(※主人公)「うう、そ、その…、あぁ…お尻で、お尻の穴で…メスイキしますう…」

お尻の穴ですってえ！？

あははは！ そうか、お前は お尻の穴でメスイキするのかぁ♪

つまり、お前のこの尻の穴は「オマンコ」だってことよねえ？

ほら、認めなさい、変態♪

「私のお尻の穴は、オマンコです」って♪

(※主人公)「ああ、…はいい♥ 私のお尻の穴は、オ、オマンコ…お尻オマンコです♥」

うっふふ、さあほら、もっとお尻を突き出すのよ♪

大きな声で「ど変態マゾのスケベなお尻のオマンコをよく観て下さい」ってオネダリしてごらん♪

(※主人公)「やあん、ど、ど変態マゾの、スケベなお尻オマンコを…よ、よく観て下さい♥」

「変態マゾ犬の私は、皆様にお尻マンコを観て頂けるだけで、お股が濡れてしまいます」 はい♪

(※主人公)「ああ、変態マゾ犬の私は、皆様にお尻マンコを観て頂けるだけで、お、お股が濡れてしまいます♥」

あははは！ ほんと最低だなあ、お前は？

この変態の負け犬マゾめ♪ みんながお前を蔑みの目で観ているぞお？

そうそう、お前の尻の穴はオマンコなのよねえ？

だったら、ちゃんとオネダリも書いておきましょうねえ♪

お尻マンコまで矢印を引いて…

「オチンポ入れて、はーとまーく」っと

ほら、自分でもオネダリしなさい♪

(※主人公)「ああん…、オ、オチンポを。私の、お尻マンコに、オチンポを入れて下さい♥」

あはは、プルプル震えて、何だ？ 恥ずかしいのか？

それとも、ど変態マゾのお前のことだから

こんなことを言わされて、興奮してるのか？

くすくす、さあそれじゃあ、哀れな負け犬マゾのお尻マンコを

皆さんの前でたあ〜っぷりと調教してあげましょうねえ♥

#### ■第5話 お尻マンコ&前立腺でメスイキショー

まずはこうして…指にたっぷりローションを塗り伸ばして

お姉様の中指を挿れて、マッサージする様にほぐしてあげようねえ♪

いくらメス犬のマゾマンコだからって、いきなり太いのなんか挿れたら

お尻マンコが壊れちゃうものねえ？

ほおら挿れるよお、お尻を突き出して、オマンコの力を抜きなさい♪



ああん、ほら、入っていく入っていく♡

(※主人公)「んあ、あ、あ、ああん♡ お尻に、お尻にお姉様の指があ、あ、ああ、んはああ♡」

やだ、まだ指1本挿れただけだっていうのに、もう変な声が出ちゃってるじゃないの♪

うっふふ、お前は今、みんなが観てる前で、お尻マンコに指を挿入されているのよ、分かっているの？

(※主人公)「ああ、いやあん♡ 恥ずかしい、観ないでえ、観ないで下さいい…、ああ♡」

だあめ♪ 男の人も女の人も、大勢がお前の恥ずかしい姿を観てるわよお♪

ほら、ゆっくり指を出し入れさせて、お尻の穴の中をかき回すわよお♡

あん、そんなに力を入れたら、お姉さんの指が痛いでしょう？ 力を抜きなさい♡

(※主人公)「ひいやあん♡ でも、でもお♡ あ、あ、んああ♡ へ、変な気持ちになっちゃいますう♡」

あら、またオチンポコがビンッピンになってるじゃないの♪

本当に変態だねえ、お前は？

女の人の指をお尻に突っ込まれただけで、オチンポ勃起させるなんて♪

よおし、それじゃあ期待に応えて、もう1本、次は薬指を挿れるわよお、ほら力を抜きなさい♪

(※主人公)「ひいい、も、もう無理ですう！ ああん、も、もう挿れないで下さいい、(※挿入→)んあああ！！」

あははは！ 嫌がってる割に、あっさり入っちゃったじゃないの、指2本♪

うっふふ、ホントはいつも、お尻の穴を使ってオナニーしてるんじゃないのお、お前？

(※主人公)「ああ、んはああ！ はあ、はあ…ああ、お尻がっ、お尻の穴が広がってるうう、いやあああん！」

あらあらイヤラシイ♪ オチンポが好きそうなお尻マンコねえ、お前のアナルは？

ん～？ ほら、「私のお尻マンコは、男の子のオチンポが大好きです」って言ってごらん？

(※主人公)「はひいい！ はあ、はあ！ そ、そんな、そんなこと、言えません！ ああ、ひやあああん！」

(※厳し目→)ほら、言いなさい！ お前はもう、底辺のメス奴隷から抜け出すことなんて出来ないのよ！

「私のお尻マンコは、男の子のオチンポが大好きな、ど変態のスケベ穴です」 ほら言え！

(※主人公)「んひい、わ、私のお尻マンコは、男の子のオチンポが大好きな、ど変態のスケベ穴ですう！」

ああら、ごめんなさい♪

それじゃあ、指2本なんかじゃ、お前はちっとも満足していなかったのねえ？

よしよし、それじゃあ人差し指も加えて、3本ならご満足頂けるかしらあ？

(※主人公)「そんな！？ ああ、んひいいい、ダメえ、挿れないで、挿れないでえ！ (※挿入→)いやああんん！」

あははは！ お尻の穴に指が3本も入っちゃったわよお♪

(※見下し→) ああ～あ、チンポコびくんびくんさせて、最っ低のど変態っ。

(※ニヤリ→) お姉様に調教なんてされなくても、お前とっくにメス化しているんじゃないのお？

ほら、カメラに向かって、今何をして貰ってるのか説明してみろ♪

(※主人公)「ああ、あ、ああん♥ わ、私は今、お姉様の指を3本、お尻のオマンコに挿入して貰っていますう！」

ふふ、それでえ？ お前は嫌なの？

もちろん嫌よねえ、だってお前、本当は男の子だもんねえ？

(※主人公)「ああ、あはあ♥ そ、それは、それはあ…ああん！」

ほら言いなさい！

お尻の穴にお姉様の指を挿入されて嫌なの？

(※主人公)「ああ、あん、あああん♥ い、嫌じゃないですう！ あああん♥」

(※主人公)「お姉様に指を挿れて貰って、お尻のオマンコ、すごく気持ちいいですう！ んああああ…」

あははは！ やっぱり飲んでるんじゃない、この変態マゾ！

お前は男のクセに、お尻マンコを可愛がって貰うのが大好きな「ど変態」よ！

(※主人公)「あひいい！ あ♥ あ♥ あああん♥ お尻マンコで感じる、ど変態でごめんなさいい、んはあ♥」

よおし、じゃあ次はここよ！

お腹の中にある、お前たち変態マゾが本物の女の子になれる「スケベポイント」

ほおら、ここ！ 金玉の裏側、「前立腺」よ！

(※主人公)「(※ビクッ！→)きゃあん！ だめ、だめえ、そこダメですう！ あ♥ あ♥ あああん♥ 変になる、変になっちゃう♥」

あはは、男のクセに、本物の女の子みたいな声出しちゃって♪

そんなにいいのかあ？ 前立腺をグリグリされるのが♪

ほらほらあ、ここだろ！ 変態マゾ、もっとスケベな声出して感じてみろ！

(※主人公)「ふにゃああん♥ トロけちゃう、女の子になっちゃうスケベポイントで、トロけちゃいますう♥ いやああん♥」

ほら、前立腺で「完全メス墮ち」してるスケベな顔を、皆さんに観て貰いなさい！

(※主人公)「はああん、恥ずかしい♥ は、はあ、んはああ！ ぜ、前立腺で「完全メス墮ち」してる私を、観て下さい♥」

(※主人公)「いやああん、ダメえ♥ またイっちゃうう、お尻マンコで！ 「前立腺スケベ」で、またメスイキしちゃうう♥」

そういい子ねえ、お前はもうメス奴隷なんだから、許されるのはメスイキだけよお♪

ほおら、メスイキなら何度でも許してあげるから、みなさんに観て貰いながらイっちゃいなさい♪

(※主人公)「あくう～ん♥ みなさん、はあ、はあ!

前立腺でメスイキする、スケベな私を観て下さい、あ、ああ! (※絶頂→)んああああ♥」(5秒)

あらあら、大勢観てる前で、お尻マンコに指突っ込まれてイっちゃたのお?

やっぱりお前は、最っ低のど変態だねえ♪

(※主人公)「んはあ、はあ、はあ! ああ、も、もう許して下さいい、あああ…」

うっふふ、何言ってるの

射精しないアクメなんだから、気を失うか頭が変になっちゃうまで

何度だってイけるじゃないの♪

ずうっと気持ち良くて幸せだねえ、ど変態マゾの負け犬ちゃん♪

あら、使い道の無いマゾチンポが、またビクンビクンしてる♪

可哀想に、お射精させてもらえなくて、先っぽから透明液があふれて

ビチャビチャになってるわよお♪

イキたいのお？ お精子出したいかぁ？ あはは！

ほおら、次はさっきお前がそのイヤラシイお口で舐めシャブった

お姉様の「お勃起オチンポ」で、スケベなお尻マンコ可愛がってあげるわよお♪

■第6話 乳首&ペニバンセックスで連続メスイキショー

あら、何してるの？

早くオチンポ欲しいってお尻を振りながら、オネダリしなさいマゾ犬ちゃん？

(※主人公)「ひいい！？ む、無理です、そんな太いの、入りません…ああ、許して下さいい…」



バカね、お前はこれからメス奴隷として、男たちの相手をして生きていくのよ？

この程度のサイズのチンポ、挿入出来なくてどうするの！

さあほら、カメラに向かってもう一度お尻を突き出して

クネクネとスケベにお尻を振りながら、こう言ってオネダリよ！

「どうかお姉様のお勃起チンポで、私のスケベに開いたお尻マンコを可愛がって下さい♥」 はい♪

(※主人公)「うう、ど、どうか、お姉様のお勃起チンポで…」

もっとイヤラシクお尻をフリフリしなさい！ やり直し！

(※主人公)「ああ、どうか、お姉様のお勃起チンポで、私のスケベに開いたお尻マンコを、可愛がって下さいい！」

あはは！ ホント最低！

1000 人の人間が観てる前で、よくそんな恥ずかしいマネが出来るわねえ？

よおし、素直に無様なオネダリが出来たお前に、ご褒美よ♪

そのパッキリ開いたスケベ穴を、お姉様の勃起チンポでたっぷり可愛がってあげる！

(※主人公)「(※挿入→)あっくう！ んぐう、んはああ～！ は、入ってきたあ、お姉様のオチンポが、私のオマンコにい♥」

うっふふ、ほおら！ もっと力を抜きなさい、変態

お前はもう、男たちにこのお尻マンコを提供して、飲ばせる為だけの存在よ。

変態の「メス奴隷人生」を、心の底から受け入れなさい！

(※主人公)「あっくうん、あ、あ、んはああ！ は、はい♥ 私は、男の人に、お尻マンコをご提供し続けますう♥」

いやだ、お尻の穴に太いの突っ込まれて、何で自分のチンポ勃起してるのよ、このマゾ！

(※主人公)「いやぁあん、ごめんなさいい！ お、お尻マンコを可愛がってもらおうと、勝手に…オチンチンが勃起しちゃいますう♥」

やっぱりお前は、最っ低の変態マゾね！

ほら、男のチンポが、お前のお腹の中をかき回してるわよお？

スケベな声で喘ぎなさい！

(※主人公)「きゃあ、ああん♥ あ、あ、あはあん♥ お腹の中で、お尻のオマンコで、オチンポが暴れてますう♥」

お尻マンコ突かれて、チンポの先っぽからガマン汁がドロドロあふれてるじゃない？

ホントは男のクセに、恥ずかしいわね、このど変態マゾ！

嫌だ、金玉もパンパンになってるじゃない！？

なに？ 触っても貰えない、役立たずのマゾチンポのクセに

お尻マンコの快感だけで、金玉パンパンになるくらい精子つくってるのかあ？

(※主人公)「はあ、はあ！ は、はい♥ お尻マンコが気持ち良くて、せ、精子で、金玉がパンパンになってます♥」

まったく、このケツマンコ好きの底辺マゾめ！

メス堕ちした分際で、チンポで射精させて貰えとでも思ってるのか？

ほおら、また前立腺を突き上げてあげるから、反省しなさい！

(※主人公)「あひいいい！ らめえ♥ 前立腺らめえ！ 前立腺、敏感になってるの、あ、あ、あはあ〜ん！！」

ほらほら、もっとスケベな声出して、スケベな顔で感じてみる、変態！

(※主人公)「ああん♥ 前立腺をグリグリされると、またオチンチンが勃起しちゃうう、ガマン汁でベチョベチョになっちゃう♥」

(※腰を振ってる感じ→)こら！ 前立腺を虐めてるのは、お前をメス化させる為よ！

勝手にオチンチン反応させてるんじゃないわよ！

(※主人公)「ひゃあん♥ でも、でもお！ 前立腺グリグリされると、オチンチン勃起しちゃいますう♥ あん、あん、ああん♥」

(※主人公)「あひいい♥ 前立腺♥ 前立腺をもっとグリグリして下さい、お姉さま♥ あん、あん、ああん♥」

(※主人公)「きゃあん、トロけちやう♥ 前立腺気持ち良すぎて、心も身体もトロけちやいますう、んはあん♥」

まったく、大勢が観てるっていうのに

少しは恥じらいを持ったらどうなの、この底辺マゾ！

(※主人公)「やあん、ごめんなさい♥ でも、でも…お姉様に罵って頂くと

底辺マゾは、へ、変態だから、飲んでしまいますう♥」

やだ最っ低、私に罵倒されて、ずっと飲んでいたので、お前？

(※ピストンする様に→)ほら！ 私は反省しなさいって言ってるのよ、この負け犬！

(※主人公)「あひいいん！ はあ、はあ！

お姉様のオチンポが、負け犬マゾの前立腺を突き上げてますう、あ、あ、ああん♥」

はあ、はあ！ まったく、ガマン汁が射精でもしてるみたいに

ピュッピュピュッピュ飛び出してるじゃない！

そんなにお尻マンコ、…ううん、お前のココはケツマンコね！

ホントは男のクセに、そんなにケツマンコにチンポ突っ込まれるのが嬉しいのか、ええ！

さあほら、カメラに向かって答えろ、ど変態！

(※主人公)「あん、あん、ああん♥ はいいい♥

ど変態は、ど変態は、ケツマンコにオチンポ突っ込まれるのが大好きですう♥」

(※主人公)「あああ、ああん♥ はあ、はあ！

また女の子で、メ、メスでイっちゃいますう！ あん、あん、メスイキしちゃう♥」

いいわよお、メスイキなら何度でも許可してあげる！ さあほら、イきなさい、変態、イケ！

(※主人公)「あひいん♥ お姉様、素敵♥ 素敵いい♥

ケツマンコで、前立腺で、変態マゾがまたメスイキしますう、あ、あ、イグ、イグウンああ〜！」(3秒)

ああああ、すごくスケベな顔ねえ♪

みんな観てるよお、お前がメスイキしてる、どスケベな顔を♥

ほら、もっと観て(※さげす→)蔑んで下さいって言ってごらん♥

(※主人公)「んはあ！ はあ、はあ、はあ！ ああ…、は、はいい♥

私の…メスイキする、どスケベな顔を観て、変態だって蔑んで下さい♥」

そう、お前はど変態のマゾ♪

みんながお前のスケベな顔を観て思ってるわよお…

コイツはもう、男としてだけじゃなく、人間として終わってるって♥

(※主人公 ワナワナと)「ああ、ああああ♥ そんなこと言われたら、また、んはああ♥

変態マゾはまた、スケベな気持ちになってしまいます、お姉様ああ♥」

(※じっくり耳元で→)うっふふ、お前は底辺の負け犬♪

男のクセに、ケツマンコにチンポを突っ込まれてメスイキする、最低のゴミマゾよ♪

(※主人公)「ああ♥ 素敵、お姉様素敵♥ ああ、だめ、また身体が敏感になっちゃう、あ、あ、ああん♥」

何スケベな顔で歓んでるのよ、この変態！

こんなに乳首勃起させて、男としてのプライドはないのか、お前には？

ほら、自分で乳首を慰めろ、メス犬♪

乳首の先を指先でクリクリこねくり回して♪



メスとしての快感が、お前の心と身体を支配して

どんどんどんどんメス化が進むわよお？

そのうち、母乳も出せる様になるんじゃないのお、お前なら♪

ほら、皆さんの前で宣言してごらん♪

将来、男とケツマンコセックスして、赤ちゃんを妊娠しますって♥

(※主人公)「ああん、将来私は♥ 男の人と、ケ、ケツマンコセックスして、赤ちゃんを妊娠しますう♥」

だったら、もっとオッパイも乳首も、女の子にしておかないとねえ♪

ほら、オッパイ揉んで、スケベな声で喘ぎなさい♪

(※主人公)「あ、あ、ああん♥ オッパイい、オッパイ揉むの、気持ちいい♥ んん、んあ、はあ、ああん♥」

よおし、スケベな乳首をキューーっと摘まんで、反省させなさい！

(※主人公)「きゃあん、んくう♥ ああ、乳首い、私の乳首、悪いコお♥ あ、あ、んああん♥」

またチンチンがビンビンになってるわよ？

どうしてお前は、乳首を虐めるとチンチンが勃っちゃうのかしら？

ちゃんと反省してるの？

(※主人公)「ああん♥ はあ、はあ！ ち、乳首を虐めて、チンチンを勃てちゃう、変態でごめんなさいい！」

まだまだメス化が足りない様ね！

ほら、もう一度お姉様のチンポで可愛がってあげるから

自分で乳首弄りながら、ケツマンコでメスイキしなさい！

(※主人公)「あひいいい！ も、もう無理ですう♥ あ、あ、ああん！ お尻い！ ケツマンコもう許して下さいい！」

何言ってるの、お前はこれからメス奴隷として

絶倫男の相手だってしないとけないのよ！

一晩中でも、お尻セックス出来る様になりなさい！

ほら、もっとスケベな声で喘いで、男を歓ばせるのよ！

(※主人公)「ああん、あん、あん、んああ♥ だめえ、お尻いいい！ ケツマンコ気持ちいいですう！ あはああん♥」

はあ、はあ！ ほら、絶倫男の硬いオチンポが、お前のお腹の中を掻き回してるよお！

もう一度たっぷりと前立腺を突き上げてあげるから、どスケベなメス犬になりなさい！

(※主人公)「きゃあん、らめえ、らめえ♥ 前立腺グリグリされると、オチンチンもっと勃起しちゃうのお、んはああん！」

こら！ ケツマンコセックスしながら、チンチン勃起させるなんて

メスになりきれない証拠よ！ 反省しなさい！

(※主人公)「でも、でもお♥ 乳首と前立腺の気持ち良さが

勝手にオチンチンに伝わっちゃいますう、あ、あ、ああん、すごい♥」

スケベな顔で、口からはヨダレ垂らして

チンポからは透明なお汁をトロトロお漏らし！

まったく、どこまでだらしないの、お前は！

そんな淫乱な女の子じゃ、男の人に可愛がって貰えないわよ！

(※主人公)「んにゃあ♥ 淫乱で、淫乱な女の子でごめんなさい！ はあ、はあ！ んはあ、気持ちいい、気持ちいい！」

(※主人公)「乳首も！ ケツマンコも！ 前立腺グリグリも！ 全部オチンチンに伝わって、頭が変になりゆう〜♥」

お前は自分のオチンチンじゃなくて、他の男の人のオチンポを歡ばせるのが務めでしょう！

さあほら、そのスケベな顔をカメラに向けて！

もっと私のケツマンコで、オチンポ気持ち良くなって下さいって言うてみろ！

(※主人公)「んひいい♥ も、もっと私のケツマンコで、ああん！ オチンポ気持ち良くなって下さい♥ んはああ♥」

(※主人公)「て、底辺メスマゾ奴隷の私の、変態ケツマンコを、皆様に使って頂きたいんですう、いやああん♥」

あはは！ お前は、男に自分のケツマンコ使って欲しいのね？

(※主人公)「はい！ はいいい♥ 使ってえ、変態マゾのケツマンコ、使って下さい！ あん、あん、あああん♥」

(※主人公)「ああん、お姉様♥ チンポ突っ込まれて、変態がまた、ど変態マゾがまた、スケベにメスイキしますう♥」

まったく、どこまで貪欲なの、お前は♪

いいわ、ほら、メスイキなら何度してもいいって言うてるでしょう？

ほら、イキなさい、変態！

(※主人公)「ああん、でも、お願いしますう、お姉様♥ オチンチンにも、はあ、はあ！ オチンチンにも触らせて下さい！」

はあ？ お前、私の言ってる意味分かってるの？

お前はもう、メス堕ちした負け犬なのよ！

メスとして生きていくお前には

もうチンポも金玉も必要ないの、そうでしょう！？

(※主人公)「ああん、でもイキたい♥ 変態マゾは、変態マゾはオチンチンでもイキたいんですう！ んはああ♥」

まったく、どうしようも無い甘えん坊ね、お前は！

ふう、しょうがないわね、だったら後1回メスイキ出来たら

オチンチン触らせてあげるわ！

ただし、射精する時も、自分がもうメスなんだって

確実にわからせる方法で発射させるからね、いいわね？

(※主人公)「は、はい♥ ありがとうございます♥

ああ、メスなのに、オチンチン射精をオネダリして、ごめんなさい、お姉様♥」

いいわほら、まずはメスイキよ！ さあイキなさい、変態！

(※主人公)「んぐら、んああ♥ はい♥ 変態は、変態は

乳首とケツマンコの快感で、メスイキさせて頂きます♥」

(※主人公)「あん、あん、ああ♥ 素敵、オチンポ好き♥

男の人のオチンポ大好き♥ ああ、深いところにも当たってる♥」

お前の口やケツマンコはもう、男たちを満足させる為のオナホールよ！

(※主人公)「はい♥ 私のお口やケツマンコは、男の人専用のオナホールですう！

あん、あん、もっとオナホール使って下さい♥」

(※主人公)「ああ、ケツマンコと前立腺でメスになっちゃう♥

あああ、そこ、そこお、いやああん♥」

(※主人公)「ああ、またイっちゃう！ 女の子になって、メスイキすりゆう！

気持ちいいのが昇ってくるう、あ、あ、あああ！」

よおし、イケ、変態！

男を捨てて、ケツマンコでメスイキしろお！

(※主人公)「あ、あ、ああ！ イキますう、変態が、変態マゾがまた

ケツマンコでメスイキしますう、(※絶頂→)んぐう、んあああああ〜♥」(5秒)



(※主人公)「…んはああ、はあ、はあ！ くうん♥

メスイキだと、何度イッても、スケベな気持ちが収まらなくて、辛いですう、ああん…」

うっふふ…そう、それがメスイキの素晴らしいところでもあり…

怖いところでもあるのよ♪

まあ、今日はよく頑張ったお前に、約束通り射精を許可してあげるわ♪

(※ニヤリ→)ただし…、射精する場所は、「自分の顔に向けて」よ♪

あら、何驚いた顔してるのかしらあ？

お前はもうメスなんだから、これから顔に向けて射精されることなんて

いくらでもあるのよお？ 今日はその練習♪

(※主人公)「ああ、そんな…じ、自分の顔に向けて、射精だなんて…」

さあ、腰を持ち上げて、チングリ返しの格好になりなさい♥

ほら、何してるの？ 早くしないと

せっかくお姉様が出してあげた射精許可が、取り消されてしまうわよお♪ うっふふ (3秒)

ああらあら、いいわねえ？

ギンギンにお勃起した自分のチンチンが、目の前に♪

(※主人公)「いやああ、恥ずかしいですう…」

だあめ、ほら目をそらさないで♪

よおく観なさい、自分のオチンチン♥

今からその亀頭の先から、お前の顔に向かって

ドピュドピュって、精子が発射されるのよお♥

よおし、お前は初めての調教だから

ここから先は選ばせてあげるわぁ♪

自分のお口の中か、そのスケベなお顔か

射精する場所、好きな方を選びなさい♥

あ、もちろん分かっていると思うけど

お口を選んだ場合は、自分の精子を飲んで貰うからねえ♪

(※主人公)「ああ、そんな…自分の精子を…」

まあ、どっちを選んだとしても、お前が最っ低の変態マゾであることに、違いは無いけどねえ♪

うっふふ、ほら、選びなさい負け犬ちゃん♪

■第7話 射精オネダリ&セルフ精飲ショーコース

(※主人公)「はあ、はあ！ うう…その…お、お口に、お射精して…じ、自分の精子を、飲ませて下さいい♥」

あはは！ そう、お前は自分の金玉で作った精子を、自分で飲みたいのねえ？

最っ低！ 人前でよくそんな、ど変態なオネダリができるわねえ、お前？

うふふ、いいわ、それじゃあカメラの向こうの1000人のお客さんに

自分で自分の精子を飲むところを観ていて下さいって、お願いしなさい♪

(※主人公)「はあ、はあ！ は、はいい♥

ああ、みなさん、私が…自分で自分の精子を飲むところ、観ていて下さいい♥」

チンチンでオスイキしながら、ケツマンコではちゃんとメスイキするのよお、分かってるわねえ？

(※主人公)「は、はい♥ オチンチンミルクを自分のお口に発射しながら、乳首とケツマンコでメスイキしますう♥」

いいわほら！ 乳首とケツマンコで感じながら、チンチンしごきなさい！

もちろん、自分の顔の目の前でね！

ほおら、シコシコ！ シコシコ！

先に言っておくけど、射精してもすぐには飲んじゃ駄目よ？

たっぷりその味と匂いを楽しんでから、ゴクンさせてあげるからね♪

ほおらほら、今にも精子が飛び出しそうな男の子のチンポが、パンパンの亀頭が、お前の目の前にあるわよお♪

ああん、精子飲みたい♪ 精子飲みたい♪

さあ、チンポの前で口を開けながら、お前も言いなさい！

(※主人公)「ああ、精子飲みたい、精子飲みたいのお♥

お願いします、お口に精子出してえ、飲ませて♥ 精子飲ませてえ♥」

あはは！ みんなが観てるわよお？

お前がチンポを目の前に口を開けて、最っ低なオネダリしてるよ。

ほおら、お前の金玉からドロドロの精子が、昇ってきた昇ってきたあ♥

出ちゃうよお、その亀頭の先から、白おいお精子がドピュドピュって！

さあ、イキなさい変態！ 同時にメスイキしながら、人前で自分の口の中に、金玉ミルクを発射するのよ！

(※主人公)「は、はい♥ あ、ああん、精子出る、精子出ちゃう！

(※絶頂→)メスイキしながら、お口に自分の精子でるうう～～♥」(5秒)

ああらあら、いっぱい我慢してたから、たっぷり出たわねえ？

(※引く→)うわぁ、最っ低…

自分の口の中に射精するなんて、人として終わってるわよお？

さあほら、カメラに向かって口を開いて

イヤラシイ顔しながら、舌の上で自分の精子を転がしなさい♪

(※主人公)「ジュルッ、チュパッ、ジュルル…レロレロ、んはぁ…」

口で息を吸ってえ、鼻で出してええ♪

うっふふ、すっごくイヤラシイ匂いがするでしょう？

それがお前の金玉が、赤ちゃんをつくる為につくった精液の匂いよお？

本当なら女の子の身体の中に出して、赤ちゃんをつくる為の子種精子を

お前は自分で飲み込んだじゃうの♪ うっふふ

いいわほら、飲みなさい！

はい、ゴクン♪

(※主人公)「ジュルッ、ゴクンッ…んはあ♥」

あはは、最っ低！

本当に自分で自分の精子を飲んじゃうなんて。

どうなの、自分の精子の味は？

美味しかったのかしらあ？

(※主人公)「はあ、はあ！ は、はいい♥ 自分の精子、とっても美味しかったです…」

うっふふ、この最低の「セルフ精子飲み変態」め♪

これからは、他の男の精液でも飲んで飲める様になりなさいよお♪



## ■第7話 射精オネダリ&セルフ顔射ショーコース

(※主人公)「はあ、はあ！ ああ♥ お顔に…、自分のお顔にお精子発射させて下さい♥」

あはは！ そう、お前は自分で自分の顔に射精したいのね？

最っ低、自分に顔射したいなんて、大勢観てる前で、よくそんなオネダリが出来るわねえ？

ほら、今からする最悪最低の行為を、皆さんに説明しなさい♪

(※主人公)「ああ…、わ、私は今から、自分の精液を…じ、自分の顔に向けて発射しますう♥」

(※主人公)「ど、どうか…私が、自分で自分に向けて、顔射する最低な姿を、観ていて下さい♥」

あはは、このど変態のマゾめ！

チンチンでオスイキする時も、ちゃんと乳首とケツマンコではメスイキしなさいよ？ わかってるわね？

(※主人公)「ああ、は、はいい♥ 自分に顔射しながら、乳首とケツマンコで、メスイキしますう♥」

ほら、目の前でギンギンに勃起してる自分のオチンチンに、顔射をオネダリしなさい！

(※主人公)「ああん、はあ、はあ！ お願いしますう、精子を！ 私に、濃くてドロっとした精子をかけて下さい♥」

いいわほら！ 乳首とケツマンコでメスイキしながら、勃起チンチンしごけ、変態！

ほおら、シコシコ！ シコシコ！

メスイキと同時にオスイキして、1000人の前で自分に顔射しろ！！

(※主人公)「あ、あ、ああん！ メスイキしながら精子出るう！

自分の顔に向けて、濃い精子でますう、(※絶頂→)んああああ～～♥」(5秒)

あははは！ 自分で自分の顔に射精しちゃうなんて、ホント最っ低の変態ねえ、お前は？

さあ、カメラに向かってダブルピースよ♪

その自分の精液まみれのスケベ顔、皆さんに観て貰いなさい♪

(※主人公)「はあ、はあ！ ああ、どうか、セルフ顔射した、私の恥ずかしい顔を観て下さいい〜♥」

うっふふ、いっぱい我慢してたから、たっぷり出たわねえ？

ほら、ドロっとした自分の精液を、お顔に塗り伸ばして

自分で自分に顔射したんだって、その変態行為をかみ締めなさい♪

そう、お前は変態、最っ低のど変態マゾよお♥

これからはメス奴隷として、他の男の精液も、たっぷりとその顔で受け止めなさいよお♪

## ■エピローグ

うっふふ、大勢が観ている前で、こんな変態行為が出来るなんて♪

さすがはここに墮とされて来るだけのことはあるわねえ、負け犬ちゃん♥

ほら、最後まで観て下さった皆さんにお礼を言いなさい♪

(※主人公)「はあ、はあ！ ああ♥ こんな、ど変態マゾのメス化調教に

最後までお付き合い下さり、ありがとうございましたあ♥」

くすっ、お前はもう普通の男に戻ることは絶対に出来ないわ。

覚悟を決めて、底辺の変態メス奴隷として生きていきなさい♥

大丈夫、お前ならもう、本物の男の子の相手だって

難無く出来てしまうわあ♥

だってお前の心と身体はもう、すっかりメス化してしまったもの♪ ねえ？

それともお前は、大勢の人の前で辱められる方がお好みかしら？

だったらまた、お姉様のところにいらっしやい♪

頭が変になっちゃうくらい

恥ずかしくて気持ちのいいメスイキ調教をしてあげるわぁ♥